

都 田  
市 園

氷  
川  
HIKAWA

小さなまちで、大きな幸せを感じる



## INTERVIEW

安心してのびのびと子育てができる環境。  
家族の未来を見据えて選んだ、氷川町での暮らし。

### 中川 朝貴さん・ひとみさんご家族

宇城市で消防士として働く朝貴さんと、八代市で保育士をしているひとみさんご夫婦。ご結婚を機に、令和2年に氷川町へ移住されました。「新居を探す際、最初は私の職場がある宇城市を考えていました。でも調べるうちに、氷川町は子育て支援が充実していることがわかり、奥さんの実家がある八代市にも近いということで決めました。将来、子どもが通学しやすいように、JR有佐駅の近くに家を建てました」と朝貴さん。「氷川町は医療費助成が手厚く、18歳まで無料なんです。さらに出産祝い金の支給や、3歳未満の子どもには“子育て応援券”がもらえ、おむつや粉ミルクと交換できるので本当に助かりました」とひとみさんも満足そうに話します。では、暮らしてみても他に魅力を感じた点は？「何といっても食べ物ですね。梨やイチゴといった果物、新鮮な野菜が安く手に入りますし、海も近いので海産物も豊富。子どもたちには安心・安全で美味しいものを食べてほしいので、とてもありがたいです」と笑顔で話してくれました。二人のように、ここののびのびと子育てをする家族が増えていくと素敵ですね。



氷川町での暮らし  
子育て・教育



## 氷川町の子育て支援制度

氷川町では、安心して子育てができるように様々なサポートを行っています。詳しくは町ホームページをご覧ください。



### コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。住民や保護者、教職員、行政職員、子どもが委員となり、学校や地域の「願い」を実現するために話し合い、地域学校協働本部と連携し活動します。氷川町は、5校全てがコミュニティ・スクール。地域一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」を推進しています。



### ICT教育(GIGAスクールプロジェクト)

「学ぶ意欲にあふれた氷川っ子～確かな学力の育成～」をめざし、町内5校共通で「ひ・か・わ」型学習を推進。子どもたちが課題解決に向け、主体的・協働的な学びを深める授業の工夫・改善に取り組んでいます。令和2年度には1人1台端末や校内LANなどICT環境を整備し、ICT機器の効果的活用を進め、大きな成果を上げています。



### 八火図書館

蔵書5万冊以上で、幼児から大人まで楽しめる図書館です。バリアフリーの館内は、明るくて開放的な空間となっており、落ち着いて読書や学習ができます。絵本コーナーには、子ども用テーブルや椅子を配置。お子様連れでもゆっくり読書を楽しめるように、畳のスペースもあります。屋外にはテラス席もあり、自然と共生した心地よい環境に囲まれています。



### 氷川町子育て支援センター

妊娠中の方や就学前のお子さんと保護者が気軽に交流できる場所です。おもちゃや絵本が自由に利用でき、子育て仲間が広がります。ヨガやベビーマッサージ教室など、親子で参加できるイベントも人気。子育てについての不安や悩みは、常駐している保育士に気軽に相談ができ、安心して子育てが楽しめるようにサポートしています。